

子どもたちの「生きる力」を育むために

# Action (アクション)

～ できることを あるものを使って 今いるところで はじめよう ～



令和3年2月

岡山教育事務所生涯学習課

「地域連携」って学校の管理職や地域連携担当の先生が行うイメージ…。

## 私たち、事務職員も地域連携に携わることってできるのかなあ？



事務職員

### 「事務職員と地域連携」について考える研修会が開催されました！

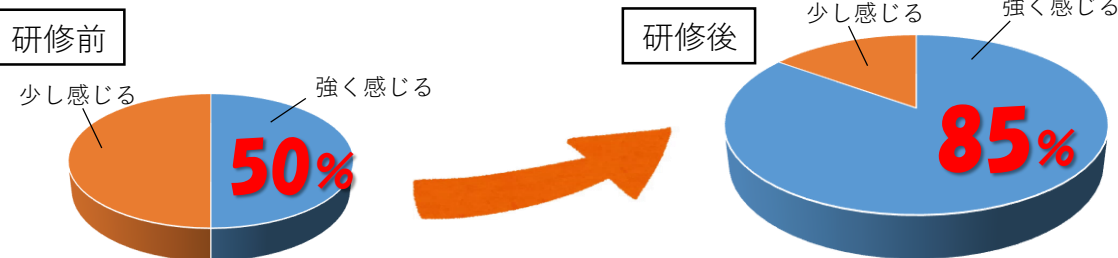
1月13日、**玉野市**で学校事務職員研修会が開催され、「**事務職員として地域連携にどう関わっていけるか**」をテーマに、意見交換を行いました。

定期的に共同実施等で、情報交換や業務をしている事務職員同士ですが、「地域連携」について自分事として考えたり、他の職員と意見交換したりすることはほとんどなかったそうです。

研修後には、「**地域連携は自分の業務にはあまり関係がないと思っていたが、できることがたくさんあることに気が付いた。**」という意見が出るなど、たくさんの学びや気付きがある充実した研修会となりました。

### 研修会で変わった**地域連携**に関する意識

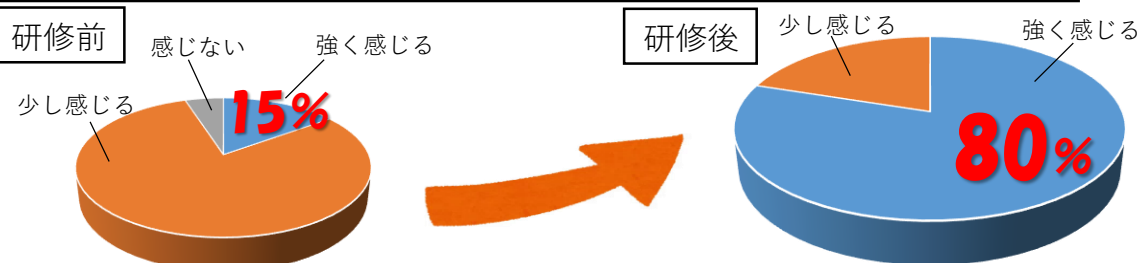
#### 「学校と地域の連携・協働の必要を感じますか？」



事務職員の皆さんの地域連携に対する意識の変化がすごいですね！

研修の詳細や意見交換の内容が気になる方は、裏面をご覧ください。

#### 「事務職員が地域連携に関わる必要性を感じますか？」



# みんなで意見を出し合い、自分事として考える研修会の流れ

## ①目的の確認

「なぜ今、地域と学校の連携・協働が求められているかな？」

「学校だけでこれからの時代を生き抜く力を身に付けさせることはできないからじゃない？」「子どもを取り巻く環境が、私たちの子どもだった頃とはずいぶん変化しているからだと思う。」など、いろいろな考えを出し合いました。そして、玉野市で現在取り組んでいる地域学校協働活動を確認しました。

## ②現状や課題の共有「事務職員として、普段どれだけ地域連携に関わっているかな？」

『地域連携セルフチェックシート』で、普段どれだけ地域連携に関する業務に関わっているか振り返り、グループで話し合いました。その後、市内で積極的に地域連携業務をしている事務職員に「普段している地域連携業務やその時の心境」を紹介してもらったり、参考資料を活用したりして、地域連携業務が身近に感じられるようになりました。

チェックシートや参考資料はこちら



## ③アイデア出し

「現在取り組んでいること、今後取り組めそうなアイデアは？」

電話対応や挨拶、会話の一つ一つが、地域連携業務につながっているというのは新たな気づきだね。



ゲストティーチャー等の人材バンクを作り、**共同実施**を使って、**中学校区で共有**するのはどう？

会計処理や予算活用のアドバイスなら私たちにもできそうよ。

事務職員として何ができるかを考えるために、**積極的に先生と話を**していくことが**必要**だわ！

そうだね。**地域学校協働本部の会計業務**はできるね。

## ～研修を受けた事務職員の振り返りを紹介します～



今までは正直、事務職員が地域連携に関わる必要性をあまり見い出せておらず、頭のどこかで『管理職の仕事』だと考えていましたが、今回の研修を通して、地域連携を推進する当事者として何ができるかを考えることができました。早速、来年度から地域学校協働本部事業の校務分掌に名前を入れてもらおうと思います。

「地域学校協働本部」や「学校運営協議会」のこと、あまり知らなかったけれど、他の事務職員と話し合うことで、普段から地域連携につながる業務をたくさんしていたことが分かりました。これからは意識しながらしていきます。そして、共同実施を活用して、情報を共有することから始めていきたいです。



## 職務が見直され、主体的・積極的な校務運営への参画が求められています

学校教育法の改正により、職務が見直された事務職員は、今後益々学校組織における唯一の総務・財務等に通ずる専門職として、校務運営への参画を一層拡大し、より主体的・積極的に参画することが求められています。『チーム学校の一員』であるという意識を高め、「地域連携」にも関わっていきましょう。

また、現在「業務改善や効率化」「OJT」等、様々な好影響を生んでいる共同学校事務室（共同実施）ですが、そこで「地域連携」についても話題にしていきたいと思います。共有した情報を持ち帰り、校内で先生方と共有することで、新しい気づきや役割が生まれてくると思います。

「チーム学校の一員として、学校運営協議会や地域学校協働活動に積極的に関わり、共同学校事務室でさらに可能性を広げていきましょう！」